

# 銀の鈴

猪名川町立白金小学校  
令和5年12月14日  
学校通信 No. 10

## 「あい・ワクワクプラン(小学校編)」の策定について

昨年度末、中学校改革プラン「あい・ワクワクプラン(中学校編)」が策定され、部活動の大幅な改革やチーム担任制の実施等が行われてきました。今年度は小学校編の策定を行うべく、猪名川町教育委員会と小学校長会が中心となって内容の検討を行い、この度公表されました。(別紙参照)

教職員が、授業をはじめとする質の高い学びの環境づくりに力を注ぎ、心身ともに健康で児童と向き合う時間が確保できるようにするための改革です。

主な改革のポイントは次の通りです。

- ① 5時間授業の日を週2回確保する(全学年)。1学期の授業時間を一部削減する(1, 2年生)。
- ② はげみの評価項目をすべて観点別評価に変更する。
- ③ 授業を始める時間を早めたり、休み時間を削減するなどして下校時刻を繰り上げる。
- ④ 学校行事の内容をさらに見直し、準備時間を縮減する。
- ⑤ 現在5, 6年生の一部教科で行っている教科担任制を他の学年へも拡大する。
- ⑥ 中央教育審議会等で示された「学校以外で担うべき業務」例えば登下校に関する対応や「必ずしも教師が行う必要のない業務」などについても、業務の仕分けを行い、教師の働き方について保護者や地域住民に理解と協力を求めていく。



「あい・ワクワクプラン(小学校編)」は、猪名川町全体で策定されたものですが、学校の実情に合わせて、各小学校でカスタマイズしていきます。白金小学校ではどのような取り組み方ができるか、年度末までに時間をかけて計画していきます。具体的な内容が決まりましたらお知らせしていきます。ご理解たまわりますようよろしくお願いいたします。

## 誰もが好きなことを好きと言える

私が子どものころには、日常会話の中で「男のくせに」「女のくせに」といった言葉が普通に使われていました。公の場やテレビに出てくる人なども躊躇なく使っていたと思います。時代が進むにつれて、社会全体、世界全体で人権を守るといふことの意味をより深く考え、様々な人の立場に立って考えるということが進んできました。

今学期、初めて全校で一斉にLGBTQをテーマにした授業を行いました。調査にもよりますが、LGBTQに該当する人の割合は8%とも10%とも言われています。成長に伴い自らの性自認に違和感を感じたり、自分が好きなことを好きと言えないで困っている子どもがどの学校にもいると思います。



子どもたちが自分の性に気づき始めた時、まず一番に理解してほしい人は、自分の家族、保護者であるはずですが、けれども、自分の家族に伝えることが一番難しいとも言われています。否定され悲しまれるのではないかという思いから自分の思いを言えないで苦しんでいる子どもがいます。

誰もが自分の好きなことを好きと言える、好きな人を好きと言える社会を家庭や学校から作っていきたいと思います。

## 1月の行事予定

1月9日(火)	始業式	
10日(水)	給食開始	
11日(木)	短縮5h授業～12日(金)	
15日(月)	クラブ	
17日(水)	1.17集会	
18日(木)	芸術鑑賞会ミラマーレ・オペラ「てががみ」	
22日(月)	クラブ、読書週間～26日(金)	
25日(木)	校外学習(県庁・県警・神戸港)4年	
26日(金)	代表委員会	
30日(火)	猪名川幼稚園・保育園交流1年	

【2月の予定】9日(金)授業参観・学級懇談会(低)、16日(金)授業参観・学級懇談会(高)、26日(月)読書週間～3月1日(金)、3月1日(金)新1年生入学説明会・体験入学

## 登校班編成の主体について

登校が遅くなる班が固定化してきています。登校班から勝手に離れて登校してくる子どもがいます。集団登校は子どもどうしの助け合いの組織ですから、集合時刻など決められた約束事は守らなければなりません。わが子はその約束事を守っているのか、保護者の方にご指導いただかなければなりません。

遅れてくる子どもたちに、毎日、地域のボランティアの方が付き添っていただいで登校しています。

登下校の安全確保は、保護者の責任で行っていただかなければなりません。保護者一人ひとりが送り迎えをすることが難しいから、子どもどうしを助け合わせて、安全を確保してきたのが集団登校です。保護者どうしの協力なしに登校班を継続していくことはできません。

一部の登校班では、様々な事情から、班長決めを学校に依頼されているところがあります。移行期間を設けて学校は柔軟に対応しますが、今後は保護者が主体となって登校班編成を行っていく方向でお願いしたいと思っています。地区児童会の場を活用し、保護者が主体となって班編成を行っていくなどの工夫も考えられると思います。

地区児童会で登校班の班長になった子どもが、「自分が1年生の時、いつも6年生の班長が手をつないでくれたり、かばんを持ってくれたりして守ってくれた。自分もお世話になったから、今度は自分が小さい子のために班長として頑張りたい。」と発言しました。今、この通りのことを高学年の班長の多くが実行してくれています。

登校班を廃止して非常に困るのは低学年の子どもたち、その保護者であると思います。入学して間もないころに、子どもだけでバス道を安全に渡ること、住宅地内でも曲がり角から飛び出さないようにすることなどは、実際に難しいと思います。



毎年、小学校における登下校中の死亡事故は、1年生に集中しています。猪名川町では過去に小学生の登校中の死亡事故が起こっています。痛ましい事故が起こるたびに、安全対策を強化したり、保護者による見守りを増やし、地域住民に協力を求めたりしてきました。

わが子は高学年になったから、登校班はいらないという考え方をしてよいのか、それは慎重に考えていかなければと思います。

## 保護者アンケートありがとうございました

Webで行いました保護者アンケートにご回答いただきありがとうございました。いただいた結果は、また、まとめて報告させていただきます。これからの学校経営に生かしていきたいと思えます。

最後の筆記欄に、教職員に対して温かい言葉をたくさん書いていただきました。

- ・クラスの雰囲気がとてもよく、クラス全体が生き生きしています。
- ・先生方が優しく、生徒のことを大事にしてくださっていると思えます。
- ・担任の先生が勉強をよく見てくださり、子どもの「やる気スイッチ」を入れてくださっています。
- ・子どもが先生のことを慕っています。先生方も生き生きされています。
- ・学年の先生どうしが連携をとっていただいているのがわかります。担任の先生を信頼し近しく感じています。
- ・担任の先生が保護者の相談に親身になってのってくださいます。
- ・子どもの勉強に力を入れていただいていると思えます。
- ・担任が不在となった時も、教職員全体で子どもたちに関わってくださいました。
- ・学校のホームページが頻繁に更新され、子どもの様子がよくわかり、見るのが楽しいです。
- ・家庭訪問の廃止や懇談会の選択制など、家庭との連携はしつつも、めりはりをつけた改革が行われ良いと思えます。
- ・時代や社会情勢に合わせて、変えられる部分は変えていこうとしているところが良いと思えます。
- ・広い運動場、十分な施設で、子どもたちは恵まれています。
- ・参観以外でも子どもの様子を見に来てくださいますと言ってください、とても開かれた学校であると思っています。

いただいた温かい言葉をエネルギーに変えて、新しい年も教職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。

改善点についても、学校運営協議会の全委員、全教職員で共有していきます。

保護者の皆様、地域の皆様からいただきましたご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

